

# クローバーつうしん

CLOVER TIMES



2019年4月1日 第44号

公益財団法人 金森和心会

クローバー子供図書館 / 発行

〒963-8851 郡山市開成6-346-1

TEL/FAX 024-932-2118

<http://www.k-washinkai.or.jp/clover/clover.html>



## クローバー回想記

クローバー子供図書館 元職員  
清水 香里

一昨年の秋と今年の一月半ば頃、平日に帰省することがあり、それなら！と思い立ってクローバー子供図書館を訪れました。現在の場所に移転オープンした時以来の訪問だったので少々緊張しましたが、それでも館内に一步入ると、昔と変わらない心地良さでした。私の字で書かれたブックカードなどもまだあって、懐かしさで胸が一杯になりました。

私が職員として勤務していたのは、現在の図書館ではなく、開成四丁目の古い建物の頃でした。子ども達にはよく「トトロのおうちみたい」と言われたものでした。国道49号線に面した門を入り奥へ進むと玄関にたどりつきます。玄関を上がって開き戸から入るとそこは国道沿いとは思えない静かな空間でした。木造の床は長年の使用でギシギシと音もしましたが、表面はとてつややかでした。建物の南側には庭が広がり名称の由来でもあるクローバーが生えていて、柿や枇杷の木も植えられていました。季節になるとその実を収穫することもありました。

通常の貸出業務の他に、クローバーならではの様々な仕事がありました。子ども向けの行事は季節に合わせて工作や手芸、簡単なお料理教室などを企画しました。夏の納涼祭、冬のクリスマス会は二大ビッグイベントでした。図書館をよく利用して下さる方や病院職員の方にもお手伝いをお願いし、バザーやゲームなどのコーナーを担当していただきました。本棚などの配置も変えて、楽しめるように色々な工夫をしました。また、『児童文学講座』という子どもの本に興味のある大人の方対象の連続講座も開催していました。著名な作家、研究家の先生方に講師として来ていただけて、とても貴重で有意義な時間でした。それから、本を沢

山積んだブックトラックを押して病院内を巡る週に一度の病院貸出も、当時はクローバーと病院が少し離れていた為、職員の皆さんや患者さんと交流出来る唯一の機会でした。もう四半世紀も前!の事となってしまいますが、思い起こすとこんなにも鮮明に記憶が蘇ってきます。

平成10年の春、建物の老朽化にともない一般貸出が休止となりました。クローバーの行く末も定まらず、どうなるのか気が掛かったまま数年後には私も退職し、それからしばらく時間が経ちました。そして平成19年夏に移転再開が決定し、オープンセレモニーには私も招待していただきました。どんな図書館になっていたのか期待して出席しました。玄関入口には花の形の風船が飾られ、来館する方を出迎えていました。ドーム型の外観は斬新で秘密基地のようにも見えました。館内には、本は勿論、旧図書館で使用していた棚などもそのまま使われていて、新しい物と古い物がとても良く共存していました。一時は止まってしまったクローバーの時間の針がまた動き出したことを多くの人が祝福して下さり、本当に嬉しく思えた再オープンでした。

現在私は、居住している神奈川県寒川町で学童保育クラブ支援員として勤務しています。子どもを取り巻く環境は時代とともに変化しています。それでも遊びや物を作ることなどで得られる楽しさは、子どもの成長に大切な要素です。クローバーでの経験は、その要素を身に付けられる出来事でした。今の仕事においても、そういった楽しい事をより多く子ども達と共有出来るようにと日々、奮闘中です。

クローバー子供図書館を久々に訪問したことで、このように改めて振り返る良い時間を持てました。これからもずっと変わらずに、幅広い世代の方に親しまれる図書館であって欲しいと、少し離れた地より願っています。



## 2019年度催し物(予定)

### 工作教室

子ども講座 6/1(土)・11/6(土)  
夏休みクラブ 7/20(土)・7/24(水)  
針生まつり 10/20(日)  
ワークショップ(親子可) 12/7(土)

### その他

元気におよげこいのぼり 4/23 ~ 5/10  
七夕かざり 6/28 ~ 7/6  
夏休み開館時間変更 7/23 ~ 8/22  
おすすめの本の貸出 10/29 ~ 11/8  
本のリクエストポスト 12/6 ~ 12/21

### 「たのしみな むせいげん」

夏休みや読書週間等に合わせて催される「貸出無制限」。毎回楽しみながらたくさん本を借り、借りた冊数分のシールを専用シートに貼るお友達で大賑わいになり、カウンターはうれしい悲鳴でした。昨年度たくさん本を読んだお友達を紹介します。今年度もすてきな本にたくさん出会って下さい。

- ①鈴木樹里さん(247冊)
- ②佐藤壮真くん(107冊)
- ③豊田大智くん(87冊)
- ④豊田悠晴くん(86冊)
- ⑤伊藤健一郎くん(78冊)

### おたのしみ会

こどもの読書週間 5/10(金)  
秋の読書週間 10/18(金)

### 「みんなで 絵本の世界へ」

毎週金曜日の午後2時と4時の「えほんのじかん」は、図書館が一番にぎやかになる時間でした。自分では選ばない本や季節の本など、みんなで絵本の世界を楽しみ、1年間で11回参加したお友達には、小物が贈られました。昨年度たくさん通ってくれたお友達を紹介します。

- ①鈴木樹璃さん(35回)
- ②豊田大智くん(29回)
- ③佐藤壮真くん(28回)
- ④豊田晃久くん(28回)
- ⑤豊田悠晴くん(23回)

## 2018年度 事業報告

\*開館日数 206日  
\*入館者数 5,632人  
\*登録者数

乳幼児	小学生	成人	計
146人	137人	415人	698人

#### \*貸出人数

子供	成人	計
2,201人	2,515人	4,716人

#### \*貸出冊数

子供	成人	計
11,312冊	9,519冊	20,831冊

#### \*団体貸出

団体数	対象会員数	貸出冊数
11組	1,003人	1,345冊

#### \*えほんのじかん

実施回数 85回  
参加人数 561人

#### \*行事

子供対象 11回(414人参加)  
成人対象 1回(5組参加)



「はたらくくるま」  
パイロン・パートン/作  
あかぎかずまさ/訳  
(ポプラ社)



「フンタン  
おねしょで  
しょん」  
キヨノサチコ  
/作・絵  
(偕成社)

## わが家の絵本生活

小林 育

毎週金曜日は、図書館に行くのが子どもとの約束。定時に職場の席を立ち、保育所に寄り、「クローバー子供図書館」に向かう。

四歳、二歳の子どもたちは、大急ぎでシートベルトを外し、閉館ギリギリの図書館へ駆け込んでゆく。

ふたりは慣れた様子で本を選ぶ。新幹線、ミッフィー、ノンタン、はたらくくるま、同じ本を繰り返し借りることも多い。

たくさんの中から見つけ出した本は、きつと特別なものなのだろう。誰かに与えられたものではなく、先生が選んだものでもなく、自分で見つけて自分で選んだ本。それだけで、うんと価値のあるものなんじゃないだろうか。

ふたりは満足そうに本を抱え、中のページを覗きながらにこにこしている。

借りてきた本は、一週間の大活躍。私の膝の上や布団の中で押し合いしながら楽しい時間を過ごしている。

つまらなかつた本はその後登場しないのだが、好きな本は何度も何度も、何度読んでもおもしろいようだ。

子どものわくわくしている顔や、全身でお話を楽しんでいる様子は、なんともいえず愛らしく、何度見てもしあわせである。

## えほんのじかん

金曜日

- ・14時 3才以上
- ・16時 小学生低学年以上



開館日のごあんない

火・水・木・金・土(第1・3・5)

午後1時~6時

※月末は休館

GWのごあんない

4月27日・5月1日

5月3日・6日は休館

5月2日は開館

— 編集後記 —

今年の冬は、とても暖かく、毎年恒例の雪かきの仕事は、一度もやりませんでした。図書館のスペースはとても広く、雪かきが終わるとへとへとです。「助かった」と言いながらも一回ぐらいは雪かきをしたかったなあと心のどこかで思います。昨年、子どもたちと楽しんだクローバーが、元気に顔を出しているのを見るとうれしくなり、今年度もがんばるぞと思います。